

小牧市長 山下 史守朗 様

小牧市民病院改革プラン評価委員会

委員長 高野 健 市

小牧市民病院改革プラン評価委員会の評価結果に
ついて（報告）

このことについて、小牧市民病院改革プラン評価委員会の点
検・評価の結果については下記のとおりです。

記

- 1 開催日 令和6年10月29日（火）
- 2 場 所 小牧市民病院 管理棟1階 講堂
- 3 議 題 令和5年度小牧市民病院改革プラン決算比較につ
いて
- 4 評価意見等

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に分類された
ことにより医療従事者の濃厚接触者による勤務制限が緩和され、
新型コロナウイルス感染拡大前の医療提供体制を確保できるよう
になりました。一方で、新型コロナウイルス感染症に関連する
国・県からの補助金の多くが終了したことに加え、昨今の人件費
の上昇や物価の高騰が大きな負担となっており、更には医師等の
当直勤務における手当等の遡及支払による特別損失の影響も大
きく、令和5年度決算は18億3,600万円余の純損失となり
ました。

全体としては、令和4年12月より順次算定を開始した入院料
加算の取得や平均在院日数の適正化など、収益の確保に向けた取
組を進められたことで医業収益が増加したことは評価できます
が、その収益以上に費用が大きく増加しており、厳しい経営状況
であると言えます。

小牧市民病院改革プランの評価としては今回が最後となります。令和5年度からは小牧市民病院経営強化プランの実績に基づく評価を行うこととなりますが、その経営強化プランに掲げる、役割・機能の最適化と連携強化、医師・看護師等の確保と働き方改革、経営の効率化等を計画どおりに進めていただき、地域における基幹病院として安全で質の高い医療を持続的に提供できるよう、努めていただくことをお願いします。